ESPACE MAXIM X

エスパース・マキシム エックス

X-TREK™ Fabrics

取扱説明書

ご使用の前に必ずお読みください

●ご不明な点は販売店、または弊社までお問い合わせください。
●この取扱説明書は仕様改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社ヘリテイジ　〒399-8302　長野県安曇野市穂高北穂高2827-18
☎0263(82)0141　WEB SITE：http://heritage.co.jp

各部名称と説明

A テントパネル
耐水圧は20,000ミリ以上、そして透湿性能は13,500g/m²・24hr以上、さらに防風性、耐摩耗性にも優れたX-TREK™ファブリクスを採用しています。

B ダブルラウンド・ファスナー式入口
O型のラウンドファスナーで大きく開閉しますので、出入りもスムーズです。冬季にはモスキートネットパネルを吹き流し入口（オプション）に交換し3季パネルとの併用も可能です。

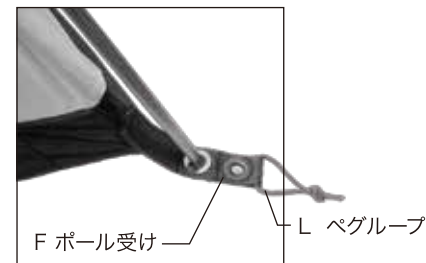
C 入口ダブルフラップ
入口のファスナーはダブルフラップで守られています。アウターフラップ下部には水抜き穴があり、フラップ内に溜まった水を排出する構造になっています。これにより高い防水性を誇ります。さらにより快適な空間をご希望の場合にはオプションの前室フライをご利用ください。

D 張り綱
テントを固定し、耐風性、居住性を高める重要なパーツです。ポールの延長線上でコーナーより約70cmの位置にペグなどで固定してください。

E コネクテッド・ポールスリーブ
ポールスリーブは頂点交差部分がそれぞれのラインで連結されています。一気にポールを通せて設営がよりスピーディにできます。

F ポール受け
湿度、温度によりテント本体は伸縮するため、２つのグロメットでテントの張りを調節します。出荷時には両末端とも、テント寄りのグロメットにあわせてポール全長を調整しています。

G ベンチレーター
テントパネル上部に設置（前・後面２ヵ所。ミニは後面1ヵ所のみ）されていて、テント室内の換気を図るためのものです。テントパネルは結露や凍結などで通気性が悪くなるため、定期的に換気してください。

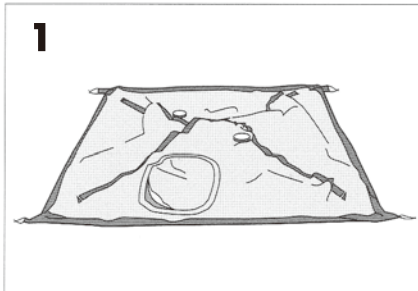
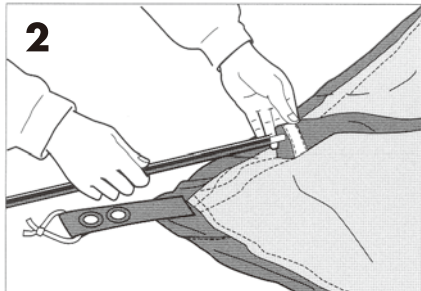
H グランドシート
パネル面までグランドシートが立ち上がり（バスタブ式）、接地面の縫い目を少なくしています。防水地（耐水圧2,000㎜/㎠以上）を使用していますが、地面に接しさらに人の体重が加わるために水がしみることがあります。防水、保温のためにテントマットを必ず使用してください。
グランドシートの結露を最小限に抑えるために、バスタブの立ち上がりは極力低くしてします。

I テントポール
テントの生命部分ともいえるパーツです。メンテナンスをしっかり行い、山行に合わせて予備パーツなどを携行してください。

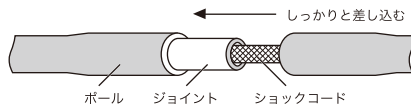
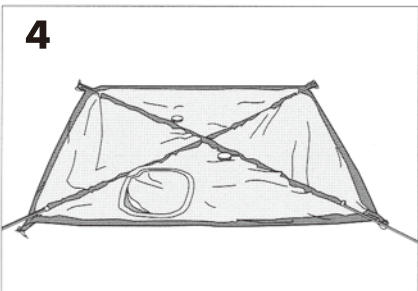
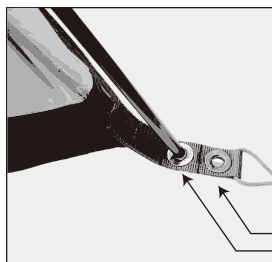
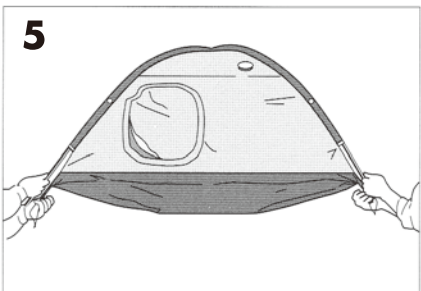
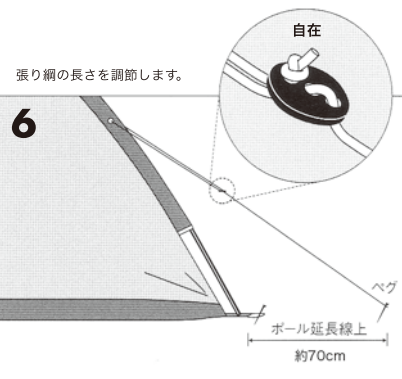
J 入口留め具
入口を全開にしたり、入口パネルを束ねメッシュパネルだけにする時に使用します。またメッシュパネルだけ束ねることもできます。

K プラスチック３つ穴自在
張り綱の長さを調整するものです。テント設営後は張り綱を強く張り、しっかり固定してください。

L ペグループ
このループにペグを通し、地面に打ち込んでバスタブの浮き上がりを防ぎ、グランドシート下への風の巻込みを防ぎます。

M ペグ
地面に張り綱、ペグループなどを固定するアルミ合金製の杭です。

設営方法

テント本体を広げます。テントを立ち上げた時にテントが膨らむように、入口は半分程開けた状態にしてください。風がある時にはテント室内に風が吹き込まない程度にほんの少しだけ開けます。基本としては入口を風下側に向けます。強風時にはペグでコーナー部分を仮り止めなどして、飛ばされないように十分注意してください。

ポールを一繋ぎに組み合わせ、ポールスリーブに通します。この際、ポールの各接合部(ジョイント)を完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、折損の原因となります。

頂点ではポールが交差しますが、ポールスリーブは連結されていますから、ポールをそのまま差し込んでください。引っかかった場合は無理に差し込まないで、ポールスリーブ通りに交差させてください。下側のポールスリーブから通すとスムーズです。

ポールを通し終え、それぞれ一方の端(エンドチップ)を本体隅のポール受けグロメットに差し込みます。

5

反対側のポール受けの付け根を持ち、２人で両方から同時にポールを押し込みます。湾曲させながらテント本体を起こし、ポール受けに固定します。１人で設営する場合は、まず交差している上側のポールを地面に寝かせたまま湾曲させて固定し、次に下側のポールでテント本体を立ち起こします。なお本体を立ち起こす際、突風などに対処できるように、設営者はテントより風上側に立って行ってください。
湿度、温度により、テント本体の伸縮があります。ポール受けに２つあるグロメットで張りの強さを調節します。差し込みがきつい場合には、外側のグロメットにセットします。

グランドシートをしっかり伸ばしてテントを設置します。テントのペグループと張り綱をペグで固定し設営完了です。
ペグが打ち込めず、張り綱を岩などに固定する際は、岩角での摩耗に注意してください。

■ 撤収時の注意点

ポールをポールスリーブから抜き取る際、ポールは反対側に押し出すようにしてスリーブから抜き取ってください。手前に引き出そうとすると、スリーブ内でポールのジョイントが外れ、スムーズに抜き取れなくなります。
また強風時には張り綱を数本残しておくとテントが飛ばされにくくなります。

専用オプション

吹き流し

¥4, 200+税 (0.19kg)

入口ファスナーの凍結を避けるための取付式冬季用入口です。各サイズ共通

取り付け方法

テント本体の入口パネル、メッシュパネルは、ファスナーのスライダーを2つとも全開させると、外せます。ダブルファスナーですから、冬季風雪の場合は吹き流し入口を外側に付け、また降雨時は入口パネルを外側に付けたりと状況に応じて使い分けができます。取り付ける際はファスナーの裏側（テント内側）のスライダーから差し込むとスムーズにセットできます。

前室フライ

ミニ1〜2人用(0.36kg) ¥10,500＋税
2〜3人用(0.40kg) ¥11,300＋税
4〜5人用(0.46kg) ¥12,600＋税

入口部分の防水性がより高まり、出入りの際テント内部への雨の侵入を防ぎます。前室スペースも確保され、降雨時にいっそう快適に使用できます。

●マキシムフライ

さらに高い防水性をご希望の場合、マキシムフライを装着することも可能です。

ミニ1〜2人用(0.62kg) ¥16,000＋税
2〜3人用(0.72kg) ¥19,300＋税
4〜5人用(0.88kg) ¥22,000＋税

注意事項

火気厳禁

テント室内でのコンロ、ランタン等の火器は絶対に使用しないでください。テント室内は限られた空間のため火器を使用すると、火災発生の恐れや一酸化炭素中毒の恐れもあり非常に危険です。やむを得ず使用する場合は、必ず入口、ベンチレーターを開けて常に換気してください。またテントの生地は可燃性素材ですから、火器はテントパネルから十分に遠ざけ火災に注意してください。

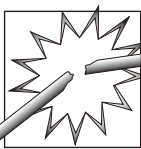
換気必要

テントパネルのX-TREK™ ファブリクスは防水・透湿機能に通気性を兼ね備えた素材です。しかし、通気性に関しては、他の各種エスパースのテントパネル素材より劣っています。そのため、常にベンチレーターを開けるなどして換気をしてください。降雨時や結露時、また低温下で凍結した時など、通気性能がさらに低下する条件では特に換気が必要になります。

張り綱の取り扱い

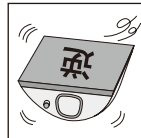
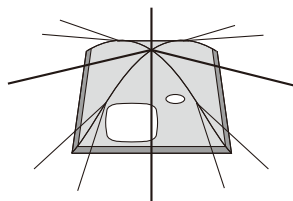
このテントに付属している張り綱は外皮にポリエステル、中芯にダイニーマを使用しているため、軽量で強度(約100kgf)も保持しています。しかし、従来の張り綱より径が細いので、自在を急激にスライドさせますと手を火傷したり自在を破損させる原因となります。張り綱を張る際は岩角などに触れないように張ってください。摩耗により切断しますので十分注意してください。ペグなどを打てなくて岩石を利用する際は、直接張り綱を岩石に結ばずに別のロープ等を利用してください。

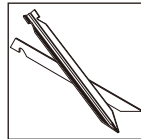
積雪期の使用について

エスパース・マキシム エックスは防水機能を重視した構造のため、内張りの併用ができません。強い防風性はありますが、内張りを併用したエスパース・マキシム ナノと比べると、厳冬期には保温性が劣ります。また入口ファスナーの凍結を避けるため、オプションの取り付け式、吹き流し入口をご使用ください。

破損時には(スペアポール、予備ポールセット、応急処置品の携行)

テントポールは悪天候や不測の事態などで折れることがあります。折損の際はショックコードを切断し、破損したポールをスペアポールに交換し応急処置してください。
生地が破れた時には、ガムテープなどで両面から張り合わせて応急処置をしてください。山行日程に合わせて、スペアポール、予備ポールセット、予備の張り綱などを携行してください。

悪天候・強風時には

悪天候が予想される時には早急に下山する事が安全登山の鉄則ですが、万が一悪天候にみまわれた時には、各張り綱がしっかりと固定されているかを再点検してください。
烈風時には補助ロープを利用して、テント頂点のポール交差部からテントパネル側に張り綱を追加し固定してください。また、張り綱を一カ所からV字形に2本張ると効果的です。

テントを乾かす時

グランドシート下側を乾かすために、ポールをセットした状態でテント本体を逆さまにしないでください。ポールスリーブやテントパネルが地面と擦れ生地の劣化を早め、またポール折損の原因ともなります。

購入後の付属品の確認

テントやパーツの製造、販売には十分注意していますが、ご購入後は必ず山行前に試し張りをしてください。その際、付属品の数、ポールサイズ、設営具合などをご確認ください。また、テントの設営は繰り返し練習の上、実際の山行に備えてください。

サイズ	ペグ	張り綱	スペアポール
ミニ1～2人用	10本	4本	1本
2～3人用	10本	4本	1本
4～5人用	12本	4本	1本

防水コーティングの劣化(加水分解)

グランドシートやフライシートの防水コーティングに使用しているポリウレタン樹脂は、ご使用にならなくても、徐々にポリウレタン樹脂が劣化してボロボロになったりベタ付きが発生します。これは、ポリウレタン樹脂が空気中の水分、気温(熱)等の影響で次第に劣化していく化学反応(加水分解)によるものです。
加水分解は、一般的に5～7年をめやすとして進行し、復元させることは不可能です。
使用、保管方法によっては劣化が早まりますので、ご使用後にはメンテナンスを行ない、直射日光を避け、高温、多湿にならない場所で保管し、時々広げて乾燥してください。

ESPACE
NO.

製造ナンバー

アフターサービスのため、製造ナンバー(テントバッグとテント室内に表示)により、ポールサイズ、パーツ類を管理しています。修理のご依頼、予備ポールやパーツのご購入の際は、必ず製造ナンバーを販売店にお知らせください。

ご使用後のメンテナンス

- ご使用後は泥や汚れ等をよく落とし、風通しのよい日陰で十分に乾燥させてから保管してください。汚れのひどい場合は、スポンジ等で水による手洗いをしてください。洗剤は使用しないでください。もし使用する場合には十分すすぎ、洗剤を完全に洗い流してください。洗剤成分が残留すると漏水の原因となります。
- 汚れたり濡れたまま保管すると、生地の劣化を早めるばかりか、カビや色落ちの原因となりますので十分注意してください。また定期的にフッ素系の撥水スプレーを塗布すると生地表面の撥水性が持続します。
- ファスナーの泥汚れはファスナー破損の原因となりますので、常にきれいにしてください。定期的にYKKファスナーメイト(シリコンスプレー等)を塗布すると、スライダーの動きがスムーズになります。
- テントポールもよく汚れを落とし、乾燥させます。ジョイント部には潤滑剤を薄く塗布してください。濡れたまま保管しますと、腐食し強度低下につながります。
- 生地の破れ、ファスナーの故障、ポールの折損などの修理は弊社にて承ります。その際、製造ナンバーを販売店または弊社にお知らせください。
- 次の山行に備え事前に異常や故障を発見するため、メンテナンスの際、テントポール、ファスナー部、張り綱などよく点検してください。